

# 本会の活動から

## 東京都島しょ部のがん検診等に協力

東京都島しょ部の住民を対象とした2024年度のがん検診のうち、神津島村の乳がん・子宮がん検診・循環器健診が神津島村生きがい健康センターにて5月8～11日に、新島村の乳がん・子宮がん検診が新島村さわやか健康センターにて5月25～30日に、大島町の乳がん検診が大島町開発総合センターにて6月13～16日に行われ、本会が協力した。

## 第97回日本産業衛生学会へ参加

第97回日本産業衛生学会が5月22～25日、「変革期における産業保健のアイデンティティ——サイエンスに基づく組織と労働者の両立支援」をテーマに広島県広島市で開催され、理事長の久布白兼行、健康増進部長の加藤京子と職員1人が参加した。このうち加藤は、「労働衛生機関における健康経営施策実施による効果——従業員対象Web調査結果より」と題して、本会の健康経営の取り組みについて口演発表を行った。

## 令和6年度理事会、評議員会を開催

本会の令和6年度第1回理事会（定例）が6月6日に開かれ、理事長の久布白兼行を議長として「令和5年度の事業報告と収支決算承認の件」「任期満了に伴う次期評議員選定委員の選任について」「理事候補者の推薦及び担当業務について」などの議案が審議され、いずれも満場一致で提案通り承認された。

一方、6月24日に開かれた令和6年度定時評議員会では、柴田昭二評議員を議長に選出し、「令和5年度の事業報告と収支決算承認の件」「理事一部選任の件」などに関する議案が審議され、いずれも満場一致で提案通り承認された。

これにより、令和6年6月24日からの業務執行理事の体制は以下の通りとなった。

理事長＝久布白兼行、専務理事＝前田秀喜（事務局、デジタル推進局担当）、常勤の理事＝阿部勝已（健康支援センター担当）、矢島晴美（事務局、検査研究センター担当）、黒田聡史（事業本部担当）

## 受診率向上を目指し、最新鋭の乳房デジタルX線検診車を配備

日本宝くじ協会の社会貢献広報事業により、予防医学事業中央会が整備した乳房デジタルX線（マンモグラフィ）装置搭載の検診車が6月12日、本会に配車された。最新鋭の装置を搭載した新しい検診車は、従来よりも高画質の乳がん検診が可能となり、診断精度や作業効率の向上が期待できる。

より多くの方々が安心して検査を受けられるよう、文字と多言語で検査説明を行えるシステムも設置。さらに、蓄電池システムを搭載しており、排出ガスや騒音も発生しない、環境にもやさしい検診車である。



▲2024年6月17日に行われた納車式・配車式の模様